

事 案 一 覧 表

申請種別：乗合バスの上限運賃変更

令和4年10月25日
自動車局旅客課

諮問いたしたい事案
川崎鶴見臨港バス株式会社（神奈川県：京浜ブロック）

目 次

上限運賃変更を申請した乗合バス事業者の申請内容 . . .	1
川崎鶴見臨港バス株式会社（神奈川県・京浜ブロック）	
申請事業者の概要	2
上限運賃改定申請の概要	3
参考資料	4

上限運賃変更を申請した乗合バス事業者の申請内容

事業者名	川崎鶴見臨港バス株式会社	
前々回改定実施年月日	平成3年1月16日	
前々回平均値上率	5.9%	
前回改定実施年月日	平成7年3月1日	
前回平均値上率	11.1%	
現行上限運賃と改定運賃の比較	現行上限運賃	申請上限運賃
均一運賃	210円	230円
平均改定率	9.52%	
申請年月日	令和4年9月13日	
実施予定日	令和5年3月16日	

京浜ブロック 川崎鶴見臨港バス株式会社

(1) 申請事業者の概要 (2021年度)

代表者名	資本金 (百万円)	株 主 (%)	事業収入ウエイト及び経常収支率			
			事業別	規 模	収入ウエイト	収支率
取締役社長 ひらい たけし 平 位 武	180百万円	1. 京浜急行電鉄(株) 100%	一 般 路 線	333両	82.7%	108.9%
			高 速 バ ス	20両	2.3%	60.2%
			特 定	12両	1.3%	100.0%
			貸 切	6両	0.2%	108.6%
			そ の 他		13.5%	97.8%
			【 受 託 事 業 その他の内訳		13.5%	97.8%
					%	%
	%	%				
			全 事 業		100.0%	105.2%

※ 一般路線運送収入 6,805,014千円
 総従業員数 862名
 配当額 無配

※ () 内は補助金込み収支率
 規模及び総従業員数は年度末の値

(2) 上限運賃改定申請の概要

項目	現行運賃	申請運賃
普通旅客運賃 改定申請内容	均一制運賃 210円	均一制運賃 230円
平均値上率	(前回改定) 11.11 % (前々回改定) 5.88 %	9.52 %
備考	前回改定年月日 平成7年3月1日 前々回改定年月日 平成3年1月16日	申請年月日 令和4年9月13日

※ 現行定期運賃（1ヶ月）の計算方法

通勤：普通旅客運賃（基準運賃額）×推定乗車回数（60回）×[1-割引率（24.60%）]
通学：普通旅客運賃（基準運賃額）×推定乗車回数（60回）×[1-割引率（40.94%）]

※ 改定定期運賃（1ヶ月）の計算方法

通勤：普通旅客運賃（基準運賃額）×推定乗車回数（60回）×[1-割引率（25.00%）]
通学：同上・変更なし

川崎鶴見臨港バス株式会社の上限運賃改定に係る参考資料

I. 一般事項

1. 今回の運賃改定の申請に係る地元の反響

申請日の9月13日（火）15時に自社HPにて申請内容を公表するとともに、報道機関に対する情報提供を行った。これにより計3紙が朝刊紙面にて申請内容を報道した。なお、本申請に関して、利用者からの問い合わせは殆んど無く、反響は少ない状況である。

2. 住民の運賃改定に関する負担感等について

(1) 主要区間での鉄軌道との比較（現行、改定後）

主要区間	鉄 道	臨港バス	現行 (210円)	改定後 (230円)
京急川崎駅 ～ 川崎大師駅	京浜急行大師線 136円(IC)	川23系統 川崎駅前～大師	1.54倍	1.69倍
川崎駅 ～ 武蔵小杉駅	J R南武線 168円(IC)	川55系統 川崎駅西口～小杉駅東口	1.25倍	1.37倍
川崎駅 ～ 元住吉駅	J R南武線 168円(IC) 武蔵小杉乗換 東急東横線 126円(IC) 計294円(IC)	川53系統～他 川崎駅西口～元住吉	0.71倍	0.78倍

II. 会社の状況

1. 経営方針としての乗合バス事業の位置づけについて

臨港バスでは乗合バス事業、貸切バス事業、特定事業、管理の受託事業を行っておりますが、乗合バス事業は全事業営業収入のうち、85.0%のウェートを占める基幹事業となっている。主な営業区域は社名のとおりに、川崎市川崎区・幸区・中原区と横浜市の鶴見区・港北区であり、地域住民の日常生活と通勤・通学になくてはならない大切な交通手段として輸送サービスを提供している。しかし、バス車両の定期更新や老朽化した営業所施設の改修、不足する運転士の対応により多額の資金が必要であり、厳しい経営状況となることが見込まれることから、今後も安全・安心な輸送サービスを継続して提供するためには、収支改善が喫緊の課題である。

2. 今回の改定を契機とした合理化策について

臨港バスでは、これまでに貸切事業の縮小、業務の内製化等による経営の効率化を図るとともに、ご利用状況に応じた路線計画の見直しによる増収策も講じることで、28年間に渡り川崎市内線の運賃を変更せず（消費税改定を除く）輸送サービスを提供してきた。このような状況下においても、ICカードシステムの導入、バス停上屋の設置、バス運行情報提供システムの導入等、旅客の利便性向上に関する設備投資やバス車両更新時には、ハイブリッドバスやEDSS搭載車両を導入するなど、脱炭素社会への取組み推進と旅客の安全性の確保に関する設備投資も積極的に行ってきた。さらには、川崎市交通局上平間営業所の全路線の受託運行や京浜急行電鉄株式会社と川崎市との包括連携協定をベースとした新規路線の運行を開始するなど、川崎市内の大切な交通手段の確保に貢献してきた。

今後もおご利用状況を踏まえたダイヤ編成と管理部門の業務の効率化を図るとともに、ドライブレコーダーおよびデジタルタコグラフを活用した運転管理と運転士教育の実施により、安全・安心な輸送サービスを提供するだけでなく、燃費向上による経費削減と環境への配慮に努めていく。

3. 乗客サービスの充実、バリアフリー対策等快適なバス利用促進のための施策について

(1) ご利用案内、運行情報の提供

- バスルートマップの無料配布によるご利用案内の充実
- 時刻表・経路検索・距離証明サイトのリニューアル実施（2022年4月）
- 停留所案内表示器設置の推進
- 臨港バス公式ツイッター開設による運行情報等の配信（2018年5月）

(2) 乗車券のICカード化およびキャッシュレス対応の推進

- ICカード「PASMO」と全国主要交通系ICカード（10カード）相互利用による利用促進
- ICカード乗車券のモバイルPASMOの導入（2020年3月）
- 定期乗車券の完全ICカード化（2018年3月）
- 定期券購入時のクレジットカード支払い対応開始（2022年7月VISA・Master、10月 JCB）
- 障害者手帳アプリ「ミライロID」への乗車対応（2021年7月）

(3) バス利用促進と家計負担への配慮

- 通学限定の1年定期券「学生応援パス」を発売し家計への経済的負担に配慮している
- 小学生限定乗車券「夏休みちびっこフリーパス」を販売、小児利用者の利用促進を図っている

(4) バリアフリー化の推進

- ノンステップバスの導入推進（2021年度末現在 一般乗合 306両/333両 91.9%）
- バス車内の液晶画面（OBC-VISION）の設置により停留所案内と注意喚起表示の明確化
- 高齢者疑似体験キットを用いた教育の実施
- サービス介助士（おもてなしと介助技術）資格取得の推進（2021年度末現在86名取得）

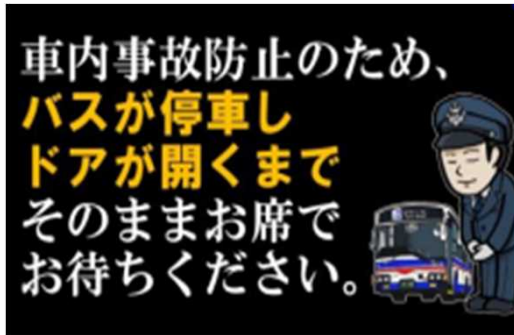
(5) 環境問題への取組み

ハイブリッドバスの導入推進とEVバス導入による環境配慮の取組み
ユーグレナバイオディーゼル燃料の使用による環境配慮の取組み
太陽光発電システムの導入によるCO2削減への取組み
入江崎水処理センター再生水の利用による環境配慮の取組み
環境定期券制度によるバス利用促進に伴う、CO2削減の取組み
大気汚染防止強調月間の実施

(6) 地域との連携

警察、消防関係、自治体等と連携した重大事故やテロ・バスジャック訓練を実施
川崎市との津波避難施設使用に関する協定の締結（塩浜営業所）
バス利用感謝デーへ参加
バスの乗り方教室の開催
営業所見学会の実施
交通安全教室の開催

液晶表示器 (OBC-VISION)



車内事故防止の注意喚起表示

営業所見学会、交通安全教室



バスジャック訓練



テロ対策訓練



バスの乗り方教室



環境に対する取組み



ハイブリッドバス



EVバス(川崎病院線を運行)

環境に対する取組み



再生水洗車機



太陽光パネルと発電量表示システム



大気汚染防止
強調月間
2022年 5月1日
▼
5月31日

大気汚染や地球温暖化の防止のため、
二酸化炭素の排出量を減らそう。
【営業所構内】 【起終点】
では、エンジンを止めよう。



アトリングストップ® 徹底の街頭指導

4. 安全対策の基本方針について

(1) 次の安全に関する基本方針等を策定し掲げている。

● 輸送の安全に関する基本的な方針

(1) 取締役社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを認識し、社内において主導的な役割を果たします。

また、営業所における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど、現場の状況を十分に踏まえつつ、関係法令等の遵守と輸送の安全の確保が最重要かつ最優先であることを社員へ徹底いたします。

(2) 会社は輸送の安全に関するPDCAサイクルを確実に実行するとともに、安全対策を適時適切に見直すなど、全社員が一丸となって輸送の安全性向上に努めます。

● 安全方針

- 安全の確保が最優先
- 関係法令順守
- 安全管理体制の継続的改善



- 重点指導項目

発着時の車内人身事故防止（3秒ルールの更なる徹底）

- 輸送の安全に関する重点施策

安全に関する基本方針を基に重点施策を次のとおり策定している

- 関連法令等の遵守と輸送の安全確保が最重要であるとの認識を徹底し、関係法令および安全管理 規程に定められた事項を遵守いたします。
- 輸送の安全に関わる費用の支出および投資を積極的かつ効率的に行うことに努めます。
- 輸送の安全に関わる内部監査を行い必要な是正措置または予防措置を講じます。
- 輸送の安全に関わる情報の連絡体制を確立し、必要な情報を速やかに伝達・共有いたします。
- 輸送の安全に関する教育および研修に関わる具体的な計画を策定し、これを適確に実施いたします。
- 管理の受委託にあたり、委託者および受託者は相互に協力・連携して一丸なって輸送の安全性向上に努めます。

(2) 具体的取組み（2021年度）

① 安全最優先の徹底

● 安全方針の周知徹底

- 「安全方針」を全職場に掲出
- 安全対策会議、教習会等での周知徹底

● 法令遵守の徹底

- 道路交通法の遵守
 - ・ 酒気帯び出勤の防止、運転中のスマートフォン操作禁止について年間を通じて指導。
 - ・ 年末には従業員のご家族宛てに「勤務前日の禁酒に関するご協力の手紙」を発信し、ご家族とともに飲酒・酒気帯び出勤の防止に努めている。
 - ・ 営業所にスマートフォン保管ロッカーを設置し、乗務中のスマートフォン等の通信機器車内持ち込みを禁止している。
 - ・ 添乗査察、街頭指導により、法令遵守状況を確認し指導を実施している。

② 交通安全運動、輸送安全総点検の実施

交通安全運動期間中には警察官を講師として招き、安全に関する講習会を開催。
また、運動期間中に取締役社長による職場巡視を実施している。
夏季、年末年始の安全総点検期間中は安全統括管理者による職場巡視を行うなど、
営業所職員に対する安全意識の高揚を図っている。

③ 安全対策会議の開催

取締役全員が出席する「安全管理委員会」を年4回（4月・7月10・月・1月）開催、
また、本社と現業部門による「事故防止対策委員会」を定期的（奇数月）に開催
し情報の共有化など全社をあげて事故防止に関する社内の意思疎通を図っている。

④ 安全推進フォーラムの実施

取締役社長と安全統括管理者が全営業所を巡回し、安全方針・会社方針を伝える
とともに、職員から日々の安全運行に関する意見を幅広く聴取するなど、安全に
関する社内の意思統一を図っている。

⑤ 研修センターによる教育

安全輸送ならびに旅客サービスの向上に必要な運転士教育を実施すべく、「研修センター」を2020年3月に設置し、新入運転士の入社時教習（約6カ月間）をはじめ、事故惹起者や苦情惹起者に対する再発および未然防止の教育を実施している。

⑥ 安全運転訓練車による教育の実施

新入運転士への教習時は、問題点の早期把握と是正を目的に、安全運転訓練車を使用している。訓練車にはアイマークレコーダーや車内安全確認ランプ・加速度センサー等を設置し、教習の「見える化」を図っている。

⑦ 健康管理の徹底

健康起因による事故や運行中止を防止するため次の検査等を実施している。

- 出庫点呼時の運転士の健康状態、睡眠状況の確認
- 定期健康診断（年2回）
- 睡眠時無呼吸症候群（S A S）のスクリーニング検査（3年に1回）
- 脳ドック検診（50才以上対象）
- メンタルヘルスチェック（毎年）
- 産業医、保健師による面談の実施

安全対策会議



安全管理委員会



安全推進フォーラム



事故防止対策委員会

交通安全運動



社長職場巡視

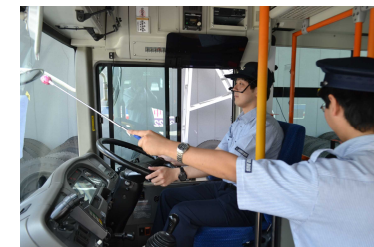


啓蒙活動

安全運転訓練車



安全運転訓練車両



アイマークレコーダ



運行データの確認

(3) 輸送の安全に関して実施した教育及び研修（2021年度）

① 運転士研修

	研修名称	教習形態	対象者	受講人数	実施月
営業所研修	業務懇談会	座学	全運転士		2ヶ月に1回
	法令講習会	座学			年2回（春、秋）
本社研修	指導運転士任命研修	座学	新任指導運転士	2人	11月
外部機関研修	指導運転士研修	座学	指導運転士	31人	5月
	運転技能研修	座学、実技	独車後1年～4年未満の運転士	29人	6月、9月、10月
	交通心理学研修	座学	-	10人	11月
	救急救命講習会	座学、実技	-	-	コロナにより中止
その他	安全運転コンテスト	実技	-	10人	11月

② 運行管理者研修

	研修名称		対象者	受講人数	実施日
営業所研修	運行管理者会議	座学	全運行管理者		毎月
外部機関研修	運行管理者基礎講習	座学	営業所新人事務員	3人	6月、10月
	運行管理者一般講習	座学	運行管理者	18人	7月～3月
	適正診断活用講座	座学	運行管理者	-	コロナにより中止
	運輸安全マネジメント講習	座学	本社運輸部職員	-	コロナにより中止
	救急救命講習会	座学、実技	運行管理者	4人	2月

教育・研修の様子



運行管理者事故防止研修



交通心理学研修



運転技能研修



指導運転士研修



救急救命講習会



自転車追越し追い抜かれ体験

安全運転コンテスト



S字走行



停留所正着



表彰式

5. 過去3年間における大きな事故

	2019年度	2020年度	2021年度
事故報告件数	0	2	2
内有責事故件数	0	2	2

Ⅲ. 地方路線維持の状況

1. 赤字路線に対する対策、関係自治体との協働、連携の状況について

(1) 広報啓発

- 創立80周年記念事業として運賃無料デーを実施（2017年11月19日の1日限定実施）
- 臨港バスオリジナルキャラクター「りんたん」の誕生による企業イメージの向上（ラッピングバス運行、オリジナルグッズ、LINEスタンプの販売等）
- 臨港バス公式ツイッター開設による運行情報等の配信（2018年5月）

(2) 関係機関と連携したイベント事業の実施

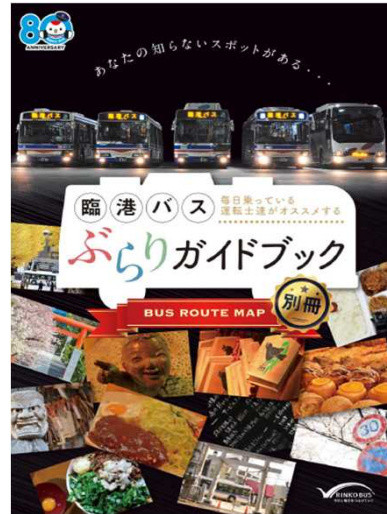
- ぶらりガイドマップの作製（臨港バスルートマップで沿線のおすすめ店舗を紹介）
- 「みんなでつくるカレンダー」の作成
沿線小学校にバスをテーマとした絵画を募集して作成。参加された小学校や取引先企業に寄贈するほか、優秀賞作品を展示したギャラリーバスを運行
- 地域主催のイベントへの出店（車両展示、運転席体験、オリジナルグッズ販売）
- 夢見ヶ崎動物公園応援バスの運行
（ラッピングバス車内に動物のぬいぐるみを装飾）
- 人気キャラクターの「すみっコぐらし」と臨港バスのコラボによるラッピングバスを運行

運賃無料デー



PRチラシ

ぶらりガイドマップ



ガイドマップ表紙



路線図と沿線店舗紹介

みんなで作るカレンダー



2022年カレンダー作品



ギャラリーバス車内

イベント風景



運転席体験



車両展示



グッズ販売

「りんたん」ラッピング車両



各営業所1台 計4台

夢見ヶ崎動物公園応援バス



ラッピング車両



バス車内

2. 地方自治体が行っている助成内容と自治体との協調について

- ・路線の休廃止状況、みなし4条の状況、地方自治体による支援状況

(1) 路線休廃止（直近3カ年分）

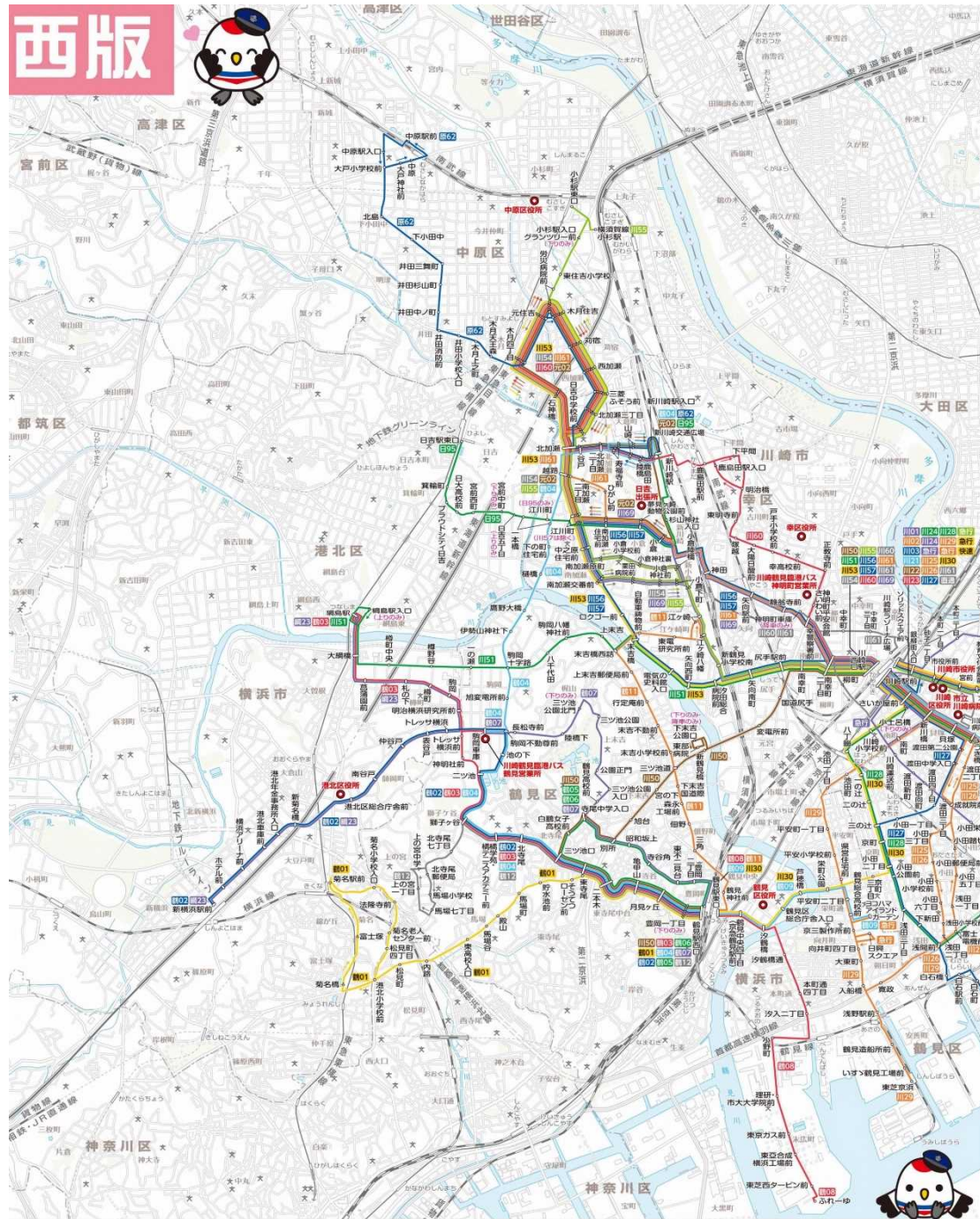
JFE扇島線 2020年7月31日廃止

(2) 国庫補助路線（直近3カ年分）

なし

(3) 地方自治体による支援状況

なし



路線図 (2022年4月1日現在)

